

実技16「リーグ戦1-②」

前は初めてのリーグ戦でした。4人での攻撃を確立することを目的にゲームを行います。ゲームで心電図を取る。⇒データの分析を行いグループの課題を見つける。⇒それを克服するための練習を行う。⇒次のゲームを行う。このような流れで、よりよい4人の攻撃にして行きます。

初めてのゲームでは、コートが広くなった分。運動量も増えて、5分間のゲームは少し厳しかったようです。しかし、「やっとサッカーらしくなってきた。」という感想も見られました。コートの広さについて考えて行きたいです。

見ていて気になったのが、広くなったコートを使えていないということです。多くの人が中央に集まり、そこでのボールの奪い合いが見られました。オフェンスが集まったら、当然ディフェンスも集まってきます。コートをもっと広く使うべきで、特に左右のスペースが空いています。空間の使い方にもっと気をつけた攻め方を考えてほしいです。

- (1) 前回のゲームの振り返り（心電図から）
 - ・良かった点・反省点⇒4人の攻撃を見直す。（よりよいものにする）
 - ・再度4人の攻撃を確かめる。グループノートに記入。

(2) 攻撃のシステム練習

<自分たちの攻撃の形（型）>

①どんなフォーメーションで攻めるのか？（自分たちの型）

②4人の動きについて共通理解をする。

（パスをもらったならどう動くか？ボール保持者以外の動きは？）

前回と比べて改善点はないのか？基本的な動きの共通理解を図る。

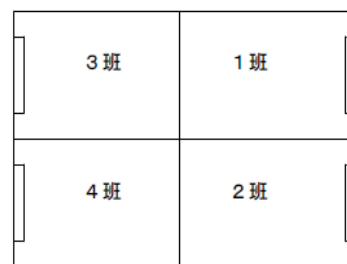
(3) ゲーム（リーグ戦2節）

リーグ戦の始まりです。5分間の試合を2試合行います。前半、後半と同じチームとの対戦を2試合行います。試合ごとに、メンバーチェンジとポジションチェンジを行います。

<本日の試合> 同じチームと2回ゲームを行う。

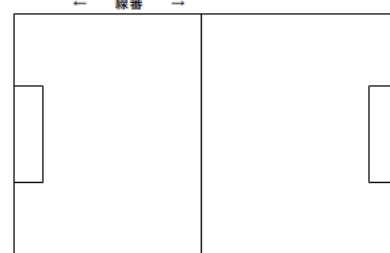
	1 試合目・3 試合目		2 試合目・4 試合目	
対戦	1 班	対 3 班	2 班	対 4 班
審判・記録・線審	(2 班)	(4 班)	(1 班)	(3 班)

練習時



- ・練習時はフットサルのゴールを使用。それぞれの場所で練習を行う。
- ・ゲームの前に、必ず4人の攻めの形を再確認すること。

試合時



- ・アナウンス、心電図係がゲームを記録。
- ・試合では、サッカーゴールを使用。

※心電図の記入者は、ゲームの流れを文章化する（特に、得点場面を事実に基づき記入。また、ゲームの勝因なども分かれば書いておく。）

(4) ゲームの集計・記録（ミーティングルーム）

- ・審判のチームが記録した心電図から、全触球数（相手も）支配率、攻撃数、攻撃成功数、攻撃成功率、シュート数、シュート成功数、シュート成功率、アシスト数を出します。（心電図の記録をノートに転記）※考察は次回に行う。
- ・ゲームの様子について、他のグループが書いたものをグループノートに転記する。

(5) 授業の振り返り